

地域会議委員の紹介（敬称略）

石野地域会議では、自治区や団体等の代表として選ばれた14人が明るく住みよいまちづくりを目指して話し合っています。今年度は下表の委員でがんばってまいりますので、ご支援とご協力をお願いします。

【会長 溝上喜美男 ・ 副会長 梅村清春】

自治区	氏名
力石町	梅村 清春
中金町	安藤 貴央
中切町	加藤 恭司
城見町	大岩 芳伸
千鳥・成合	丹羽 明仁

自治区	氏名
東広瀬下切	河原 信昭
	河原 美枝子
七重	清水 康代
	内藤 正弘
松嶺・押沢	藤村 輝夫

自治区	氏名
芳友町	塚本 まゆみ
	中川 広恵
小峯町	成瀬 嘉則
	溝上 喜美男

地域課題解決事業（新規）

人と人をつなげる・駅舎と廃線敷を中心とした活性化事業

地域課題解決事業は、地域会議が地域課題の解決策を検討し、市の事業に反映させて、より住みよい地域づくりを進める仕組みです。石野地区では、令和7年度から3か年の計画で、上記のテーマに取り組めます。

名鉄三河線猿投駅～西中金駅が廃止になって以来、石野では愛着のある駅舎、廃線敷の綺麗な景色を残そうと、地域住民による団体が環境整備やカフェ、産直販売をするなど、地域の交流・活動の場になっています。

廃線になったのは平成16年で、もう20年以上も経過しているため、様々な活動上の課題が出てきています。これからも地域の人たちに愛される駅舎・廃線敷を守っていくために、困りごと解決を図りながら、団体同士の話し合いの場を設け、連携し新しい廃線敷の活用やイベント等を実施していきたいと考えています。ぜひ、西中金駅、三河広瀬駅に遊びに来てください！





14 事業に補助金交付を決定

わくわく事業とは、地域の皆さんが地域課題の解決に取り組む活動に対して、市が補助金を交付する制度です。令和7年度は、14事業を採択し、合計465万8千円の補助金交付が決定しました。

石野が「もっと住みよく魅力あるまち」になるための取組をしていますので、皆さん応援してください。

団体名	取組事業	補助額（円）
石野町ほっこり看板の会	道路の草刈り・清掃活動とともに交通安全を促すユニークな文言を記した看板の設置を行います。	249,000
石野町伐採プロジェクト	生活道路の安全確保のための危険木伐採・撤去を行います。	983,000
大谷展望を愛する会	大谷展望台の案内看板を更新し、登山道の整備を実施します。	86,000
広瀬愛護会	旧三河広瀬駅周辺と、隣接するマレットゴルフ場の環境整備を行い、地域住民に憩いの場を提供します。	812,000
東広瀬地区 名鉄三河線廃線敷愛護会	東広瀬町内の三河線廃線敷でウォーキングを楽しめるように、草刈り等の整備を実施します。	284,000
広瀬駅前ひろば産直部会	高齢者の生きがいの場、地域の交流の場として、旧三河広瀬駅前ひろばで産直野菜等を販売します。	307,000
中金めぐり会	旧西中金駅周辺と力石トンネルまでの廃線敷の環境整備を行い、地域に親しまれる散策路づくりを実施します。	77,000
西中金駅愛護会	旧西中金駅で喫茶サービスや駅周辺の環境整備を行い、地域住民の交流を促進します。	77,000
石野連合自主防災会	防災講座の実施や、自治区、小中学校の防災イベント運営の支援を通して、石野地区の防災意識の向上を図ります。	307,000
松嶺ささゆり保存会	ささゆり育成地を整備し、地域の子どもたちが誇りを持てる故郷づくりを実施します。	154,000
もりもりあそび	学校や地域で様々な対象向けの性教育講座を開催するほか、多世代が集える遊び場づくりを実施します。	359,000
特定非営利活動法人 勘八峡・昇龍ローイングクラブ	石野地区の子供たちに、ボートの楽しさを知ってもらうためのボート教室を実施します。	300,000
石野郷土史研究会	石野地区の歴史を記した冊子を制作し、郷土史を記録に残すことで、郷土愛の醸成を図ります。	353,000
上鷹見まつりの会事務局	上鷹見小学校区でおまつりを実施し、地域への愛着・定住促進の醸成を図ります。	310,000
合計		4,658,000

問合せ 石野地域会議事務局

豊田市役所 地域活躍部 猿投支所 地域振興担当 〒470-0373 豊田市四郷町東畑 70-1
電話 0565-45-1214 FAX45-4824 メールアドレス sanage-shisho@city.toyota.aichi.jp

